

http://nakayashiki.net/ **がんばろう日本! 負けないうち!**



平年よりはるかに早い梅雨明けの途端に連日の真夏日。結構体に応えますね。

4日に公示された、暑い暑い参議院選挙の運動期間も残り一週間。しかし、気候ほどの暑さを感じられないのは何故なのでしょう?この通信を目にしていたら、ときにはすでに結果は出ていますが、多くの皆さんの投票による選挙であったか否かが非常に気になる政治の側の責任でもありますが、これから先の選挙でも、有権者の皆さんの貴重な一票を熟慮の上投じていただきたいと思います。

投票こそが、有権者の意思表示の始めの一步です。



なかやしき慎一

チャレンジ通信

なかやしき慎一チャレンジ報告 討議資料

文月に思う

6月定例会主な内容

6月定例会は28日、救急医療体制の充実など33億6千万円にも上る一般会計補正予算案や知事をはじめとする県職員への給与を削減する関連条例案など12議案を可決承認して閉会した。救急医療体制の充実等は、県内全救急車にタブレット型情報端末を配備し、救急患者を受け入れる医療機関の状況をリアルタイムで症状別に検索できるようにするものだ。救急搬送をよりスピーディーに進めてもらいたい。国の交付金の減額に伴う県職員の給与削減は、7月から9ヶ月間、額にして、234億円に上る。職員給与の削減に併せて、「議員側も身を切る必要がある」として議員提案で提出されていた、10%・9ヶ月間の報酬削減案は、民主・無所属の会、刷新の会、共産、社民、無所属の1名の計26名の賛成にとどまり否決。わが会派も提案に至る合意形成には問題あるもの、賛成を決定し



一般質問後、セレモニーの様子 傍聴にお越しいただいた皆さん、上田知事、鈴木代表と

た。が、採決時には、パフォーマンス会派と野次られる始末。何だかなあ。



地域が最前線! Saitama

発行者
刷新の会 鴻巣支部
県議会議員 中屋敦慎
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

6/18 一般質問登壇 主な質問

子育てママの社会参加について

Q 子育て中の母親が赤ちゃんと一緒に高齢者施設や学校などを訪問し「先生」として社会参加できる仕組み「赤ちゃん先生プロジェクト」に対する所見を伺う?

A 《上田知事答弁要旨》
赤ちゃんの持つ不思議なパワーを生かそうとする「赤ちゃん先生プロジェクト」は、世代間交流と子育て中の女性の社会参加を結びつけたユニークな取り組みだと思ふ。関西を中心に進んでいる進捗状況をよく見て、しっかりと後追いたい。



「なかやしきの思い」

子育てしながらわが子と共に社会参加していく。核家族化の進む中で、母親を孤立に至らせないように、そして赤ちゃんであるわが子が社会の一員であるという実感を持てる素晴らしい取り組みだと思ふ。にこにこお話を聞かせてくださったお母さんや恵代表始めとするNPO法人ママの働き方応援隊の益々の活躍を望みたい。私も力になればと思っている。!



7/9 埼玉新聞記事より

県立近代美術館のホスピタリティについて

Q 岐阜県美術館が実施したベビーカー鑑賞会のように本県においても美術館自らこのような企画を発想してこそ、本県の高いホスピタリティを示すことになると思ふが、教育長の見解を伺う。

A 《教育長答弁要旨》
県立近代美術館がある北浦和公園はベビーカーで訪れる多くの家族連れでにぎわっている。今後、それらの方や美術に興味はありながらもベビーカーでの入館を遠慮している方々にも気兼ねなく足を運んでいただけるような、おもてなしの心がこもった企画に努めて行きたい。

「なかやしきの思い」

「最も身近な非日常の一つである美術鑑賞」県立近代美術館を訪ねてみると本当にそんな思いがしました。子育てに追われ充実しつつも気忙しい毎日を送られているお母さんやお父さんこそ「スイッチoff」も必要です。県立近代美術館がそうした皆さんにとってもオアシスとなれるように、本県行政のおもてなしの心を発揮してほしいものです。



5/30一般質問調査活動に岐阜県美術館を訪ね、家田課長補佐に説明頂きました。

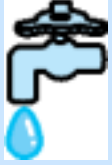


7/15 埼玉新聞記事より

裏面に続く

安心・安全な県水の供給について

Q 水質事故が発生してしまったときの迅速な対応の要となる、受水市町のマニュアルの策定状況と県指針との連動は？



A 《公営企業管理者答弁要旨》
 県営水道を受水する55団体のうち水質事故対応マニュアルを策定しているのは、現在27団体。その内、企業局の指針と連動しているのは、11団体です。そのため、今後は標準的な事故対応マニュアルを提供するとともに、各受水団体に企業局の指針と連動したマニュアルの策定を強く促します。

「なかやしきの思い」

人が生きて行くために最も重要な「水」。水道の蛇口をひねればいつでもどこでも飲料として「水」を口に出来る我が国は非常に恵まれている。それだけに、事故などの危機に関しての意識が高くなりづらいようだ。しっかりとした危機管理の方策を見出し、供水側と受水側の連携による徹底した危機管理を進めなければならない。

5月21日～23日 環境農林委員会視察

大阪府・和歌山県を視察した。大阪泉州農業協同組合では、古くから泉州地域で栽培されてきた地方品種「泉州水なす」のブランド化を進めてきた。浅漬け・一夜漬けとして一部のグルメからは高い評価を得ていたものを、加工技術の向上や開空などの新しい販路拡大により全国区へと進化させた。さらに、地域3農協が協力し、地域団体登録を申請し商品価値を高め、ブランド力の向上へとつなげたそうだ。本県でも参考にしたい。



JA大阪泉州Rizumieこーたり～な



イメージ

視察報告

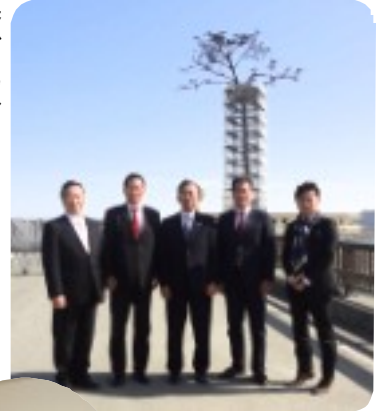


3月28日～29日 被災地視察

しばらく前になりますが、2月議会閉会日の翌日、東日本大震災から2年後の復旧・復興の現状について、上尾市とゆかりのある岩手県陸前高田市、福島県本宮市を上尾から鴻巣までの県議有志で訪ねました。両市とも市長さんから直接お話を伺うに、「復興道半ば」の思いが募るばかりでした。津波による甚大な被害、そして放射線という目に見えない危機との戦い。議会人として国にもっと迅速な対応を求めると共に、地元鴻巣の人々が被災地の皆様のご苦勞を絶対忘れないように取り組んでいきます。



津波の到達した水位



視察に参加した6区県議



陸前高田市 戸羽市長より現状についてご説明を頂きました

本宮市放射能除染・モニタリングセンターでは、放射性物質検出器を導入し、自家用農産物の検査を行っています

～工事進捗状況のお知らせ～ No.5



鴻巣川島線 追分交差点整備事業 着手

昨年度、事業進捗の影響で繰り越しとなっていた追分交差点整備事業だが、6月中に施工業者が決定し、いよいよ工事に着手することとなった。今回、お地蔵さまについては現状のまま着工することとし、お地蔵さま側はすみ切りが出来ない事となったが、まずは、交差点の危険回避を急がせていただくことにしました。

現況図



工事範囲・完成予想図



埼玉県議会 刷新の会 鴻巣支部
中屋敷慎一事務所
 〒365-0039
 鴻巣市東3-11-18-103号
 電話 048-541-8110
 FAX 048-541-0256
 E-mail
 challenge@nakayashiki.net
 県議会へのご質問、ご意見、ご要望 承っております。

編集後記

梅雨明け後続いた猛烈な暑さに、すでに1度目の夏バテのような感じです。今議会は小野さんの後を受けて、会派幹事長を拝命し初めての議会でした。一般質問も抱えていたので幹事長職を全うできたかどうか微妙な感じです。8名という少数ではありますが、これからも一人一人の意見を基に真剣に議論して行きます。 慎一

平成25年度 所属委員会



議会運営委員会
 常任 環境農林委員会
 特別 危機管理・大規模災害対策特別委員会